

令和 5 年 第 3 回 定 例 会
陳 情 文 書 表

自 陳情第 7 号
至 陳情第 10 号

陳情 番号	件 名	付 託 委員会	審 査 結 果				頁
			日	委員会	日	本会議	
7	健康保険証を存続するよう、国に意見書提出を求める件についての陳情						3
8	マイナンバーカードの取得を行政サービス提供の条件にしないことを求める陳情						4
9	「改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の存続を求める意見書」の採択を求める陳情						5
10	新庁舎敷地内に「府中市平和都市宣言モニュメント」設置を求める陳情						6

陳 情 番 号	7	受理年月日	令和5年8月18日
陳情人住所氏名	東京都新宿区西新宿3-2-7 東京保険医協会 会長 須田 昭夫		
件 名	健康保険証を存続するよう、国に意見書提出を求める件についての陳情		
<p>1 趣旨及び理由</p> <p>政府は、2024年秋に現行の健康保険証を廃止し、マイナンバーカードに一本化する法案を6月2日に可決・成立させました。しかし、厚生労働省が発表した7,312件に上る被保険者資格情報の誤登録（2021年10月から2022年11月まで）をはじめ、マイナ保険証に関するトラブルが続出し、多くの患者・国民が不安を抱えています。</p> <p>東京保険医協会（会員6,164人）が会員に対して実施したアンケート調査（5月25日～6月5日実施、FAX送信4,770件、回答数622件）では、オンライン資格確認システムを運用する医療機関535件のうち、351件（回答528件中66.5%）が何らかのトラブルを経験しており、そのうち他人の情報がひもづけられていたケースが11件ありました。別人の情報に基づいた診療・投薬は、重大な医療事故につながりかねません。</p> <p>マイナ保険証とオンライン資格確認システムが保険資格確認の手段として確実なものではないため、医療機関では現行の健康保険証を持参するよう患者・国民に呼びかけているのが現状です。病気を持つ人はもちろんのこと、病気を持たなくても不慮の事故や病気に備えて、多くの人が健康保険証を常に携帯していますが、マイナンバーカードは実印にも等しい機能を有しており、日常的に持ち歩くことは危険です。誰もが安心して医療を受けられるように、健康保険証の廃止は中止して、存続することを求めます。</p> <p>2 要望事項</p> <p>府中市議会において、地方自治法第99条の規定により国に上記意見書を提出してください。</p>			
付託する委員会			

陳 情 番 号	8	受理年月日	令和5年8月22日
陳情人住所氏名	府中市紅葉丘2-29-6 山田忠勝 外9人		
件 名	マイナンバーカードの取得を行政サービス提供の条件にしないことを求める陳情		
〔陳情理由〕 <p>令和4年12月、岡山県備前市が「世帯全員がマイナンバーカードを作れば給食費や学用品費は無償、でも作らないと有料」といった通知を子育て中の保護者宛てに出したということが報じられました。同市は保育園の保育料無償化も、農林水産関係の補助金も同様の条件付けを行うという方針も打ち出しました。</p> <p>マイナンバーカードはあくまでも任意取得のはずです。それにもかかわらず、その取得状況によって、公平性が担保されるべき行政サービスに差をつけてしまうような施策は行政としてやってはいけないことです。マイナンバーカードの取得を行政サービス提供の条件にしないことを求めます。</p> <p>マイナンバーカードは他の市民の取り違えがあったり、マイナ健康保険証でも不具合が生じたり、情報漏洩や紛失などのおそれも多く、それを避けるために取得しない市民も少なくありません。そうした市民が行政サービスを受ける際に不利益を被ることになるのは理不尽です。</p> <p>ちなみに、備前市議会はこうしたマイナンバーカードの取得を条件付けした関連条例案を8対7の小差で可決させはしましたが、新年度に入って施策を展開する直前で撤回を表明しました。任意取得が前提のマイナンバーカードを、公平であるべき行政サービスの提供の判断材料に持ち込むのには合理性がなく、市民から多くの反発があったといえます。撤回したとはいえ、備前市の例は明らかに法の下での平等をうたう憲法14条に抵触しています。</p> <p>国が振興するマイナンバーをめぐる様々な施策には、デジタル化を急ぐあまり、準備不足かつ拙速なやり方が目立っており、一番大切な人権や平等性がないがしろにされています。府中市におかれましては、いかに国が進める事業であろうとも、まずはしっかりと憲法を遵守していただきたいと存じます。</p> <p>以上の理由から、マイナンバーカードの取得を行政サービス提供の条件にしないことを求めます。</p>			
〔陳情事項〕 1 マイナンバーカードの取得を行政サービス提供の条件にしないこと。			
付託する委員会			

陳 情 番 号	9	受理年月日	令和5年8月25日
陳情人住所氏名	府中市晴見町2-15-5 府中社会保障推進協議会 事務局長 前田 寛 史		
件 名	「改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の存続を求める意見書」の採択を求める陳情		
〔陳情趣旨及び理由〕 日頃より、私ども府中社保協の諸運動へ御理解と御協力をいただいていることにつきまして厚くお礼を申し上げます。 さて、改正マイナンバー法が6月2日に成立し、2024年秋には健康保険証を廃止して、「マイナ保険証」に一体化されることになりました。現行の健康保険被保険者証の廃止は、マイナンバー法上任意とされているマイナンバーカードの取得の事実上の義務化であり、現行法上も大きな問題があります。 我が国の医療保険制度は、いつでもどこでも誰でも、必要なときに日本国内で等しく医療を受けられる「国民皆保険」制度ですが、様々な理由からマイナンバーカードを取得できない、代替手段たる資格確認書の申請ができない等により医療機関にかかれない状況になれば、我が国が世界に誇る同制度は、機能不全に陥ることになります。 被保険者の命と健康が危険にさらされることとなるばかりでなく、窓口対応では大きな混乱が生じることが予測されます。現在、マイナンバーにまつわるトラブルが多発し、その全貌はいまだ明らかになっていません。マイナンバーの利活用に不安を感じている人が7割を超えているという世論調査もある中、拙速にことを進めれば、将来に禍根を残すことになります。 この陳情はマイナンバーカードやマイナンバー制度の是非を問うものではなく、マイナンバーカードと健康保険証を一体化させたマイナ保険証の取得を強制せず、また現行の健康保険証の存続を求めることにその主旨があります。 上記の理由により以下要望いたします。 〔陳情事項〕 府中市議会より「改正マイナンバー法を見直し、健康保険証の存続を求める」国への意見書提出を求めます。			
付託する委員会			

陳 情 番 号	1 0	受理年月日	令和5年8月25日
陳情人住所氏名	府中市矢崎町4-7-1 原水爆禁止府中協議会 理事長 前 澤 清		
件 名	新庁舎敷地内に「府中市平和都市宣言モニュメント」設置を求める陳情		
〔陳情の主旨及び理由〕 <p>新庁舎が造られ、おめでとうございます。これからの府中市行政のシンボルとして市民に信頼され、愛されることを願っています。私たち市民もよき府中市であるよう努めていくつもりです。行政に携われる皆さん方におかれましても市民の要望に応えられ、尽力されると期待しております。</p> <p>さて、主題の陳情ですが、2019年第4回定例会に要請いたしましたが大旨で再度、要請をするものです。</p> <p>2019年の新庁舎計画と現在の実施で敷地の広さが変更になっております。現在の広くなった敷地に「府中市平和都市宣言の碑」と「10周年を記念して建立されたブロンズ像」を設置していただくよう要請するものです。</p> <p>理由として、世界の状況は4年前に比べ、平和が損なわれ核戦争が現実味を感じるほど緊迫してきました。テレビや新聞で戦争の報道も数多くされており、市民の間に平和を希求の声が強まっています。</p> <p>府中市は「府中市平和都市宣言」を制定し、「すべての核兵器と戦争をなくすこと」を掲げて平和への誓いを発信してきました。府中市は、広島・長崎市長が提唱した平和首長会議の運動に加盟し、高野律雄府中市長殿は平和首長会議に参加し、平和と核兵器廃絶の実現へ尽力され、「広報ひろば」に寄稿を載せてきたことは、御承知のとおりです。</p> <p>歴代の市長も「府中市平和都市宣言」に基づく平和啓発事業を行ってきました。これからも市役所に「府中市平和都市宣言」碑文を掲げて、府中市政の意思を示していくことが大切と思います。</p> <p>また、府中市役所玄関に建立していた少女のブロンズ像は、市民に親しまれ、心をほのかに温められる存在でした。周りの婦人たちや市民から、いつも眺めて府中市のシンボリックな存在なので、これからも庁舎に設置してほしいと再三の要望を受けています。</p> <p>府中市議会として、「府中市平和都市宣言の碑」と「10周年を記念して建立されたブロンズ像」を新庁舎敷地内に再建することを決議していただき、実現されるよう陳情いたします。</p>			
付託する委員会			